

町田市議会議員・若者育成の街

# 吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評

## オリンピックを中止しよう！

支持政党なし TOKYO 自治宣言

今年には町田市を含めて、大半の自治体で成人式が中止となります。楽しみにしていた人も大勢いたでしようし、その日のために晴着を用意した二十歳の若者には気の毒な思いがしますが、新型コロナ感染拡大が留まるところを知らず、新年となってもますます、増大してきました。「緊急事態宣言」が東京都、及び隣接3県に提供され、飲食店などの事業者には営業の時間制限が厳しく適用されます。

他方で、今年の7月から開催する東京オリンピックの開催は、スポーツの祭典、記録の競争という参加選手を主体にした考えから、菅総理にとってはいわゆる「国威発揚」、小池都知事にとっては、「東京の威信」のためにと変わり、為政者の名誉が優先された思考に変わってきました。

東京オリンピックは、1年延期したこと、当初の予定を変更したこと、コロナ対応を次々と増大させることにより、当初提示された予算を大幅に上回り、際限がなくなっています。今、ここで状況を再考し、留まり、生活優先、新産業創出優先の視点に切り替え、「オリンピックを中止しよう！」のローガンを提示します。

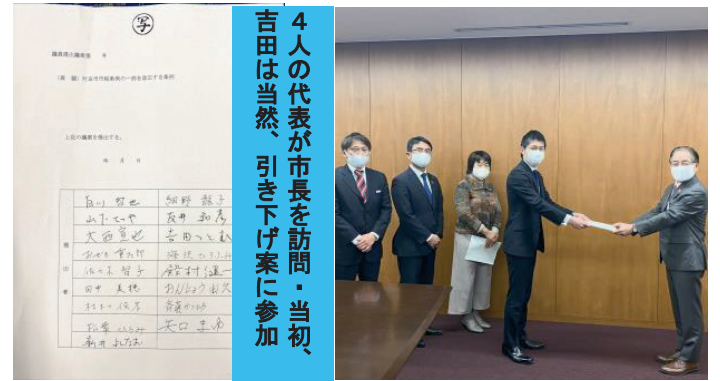


建設工事中の国立競技場を新装の日本青年館の上層階から、自分で撮影した写真です。

## 都市計画税の税率アップ案を認めず、少数派が連合して、市長に臨時議会招集を請求

前期の議会では、3つの都市計画税の税率変更案(①来年度1年間引き下げ案(0.12%)、②3年度分現状維持案(0.24%)、③3年分引き上げ案(0.27%)がいずれも否決となり、更に、④1年分現状維持案+後の2年分引き上げ案)が出されましたが、それも否決になりました。このままでは、本来の条例である0.3%に大幅アップとなるので、保守の会、公明党、共産党、無所属系諸派の議員全員17名(副議長は署名をはずす原則)が連合し、臨時議会の開催を新年早々の6日に請求しました。市長は、4分1(9名)以上の議員から臨時議会の請求があると、議会開催の義務が生じる法律が制定されています。(市長に議会の招集権があります)

最大会派の自民党、まちだ市民クラブ(いわゆる民主党系が主体)は、この間、3年分引き上げ案を頑迷に主張、臨時議会の開催にも賛成をしなかったものです。国政とはまるで、違った政党、会派間の組み合わせです。本会議での少数会派連合の最終合意案、1年間現状維持案(0.24%)が確実に可決するように頑張ります。



4人の代表が市長を訪問・当初、吉田は当然、引き下げ案に参加

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ

HP



メールは  
左記を読込  
して送信



インターン生募集中

## 野津田公園のテニスコートは機能しない

請願審査中に、野津田公園テニスコートの建設計画用地に該当する農地（養鶏を含む）の土地所有者は営農を継続する意思であり、土地買収の交渉が上手く進んでいない旨の話が出ました。行政担当者に何度状況確認を求めても、農家（養鶏）営農継続の可能性を否定し得る説明は無かったものです。

私は以前からこの用地確保を先行する意義を提案しており、行政の時期の見極めが不足したために、テニスコート12面計画が進まず、意図しない、既存3コートに合わせた、4コートの建設しか出来ない状況に陥っていることが見えてきました。当面の運営を予定するテニスコートが農地（あるいは、養鶏施設）の隣接する場所にでき、果たして、テニス利用者に満足される施設となるか、大きな疑問点が生じてきました。行政はそうした土地配置を十分に認識して、これまでの野津田公園のスポーツ施設整備をすすめたいというスポーツ愛好者があるからと言って、購入時期の判断の引き延ばしをしてきたことが事態の「どんづまり」を招いている可能性を感じました。それが、多岐な事業が盛り込まれた野津田公園整備計画の特徴だと思います。



野津田公園内の既存のテニスコート

## インターン体験記⑧松村エミリ

池袋にある日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会事務局に訪ねました。この事業に関して、前提知識のない状態で説明を受けたのですが、無知な私にも分かりやすく説明を下され、大変興味深く思いました。長年、目指されてきた「労働者協同組合法」の成立によって確立することが出来たワーカーズコープさまの現在の事業形態やそれまでの経緯などをお話ししてくださいました。このお話を通して、「ワーカーズコープ」のこの事業への熱い温度感と「労働者協同組合法」成立の念願叶った様子が伝わりました。

ワーカーズコープさまの掲げる「協同労働」という「出資」「経営」「労働」の“三位一体”で労働組合員同士が担い合う働き方に新鮮さを感じました。所謂、「社長」のような「1人のトップ」がない経営形態については、今まで行ってきた事業の具体例を伺い、地域密着型事業を展開するのに、最適なのだらうと思いました。また、頂いた資料（東京新聞 2020. 12. 23）に掲載されていた「創造集団 440Hz」さんの記事を読み、生きづらさと戦う現場にも、この上下関係のない「協同労働」という働き方がフィットするのだと感動しました。それとともに、このように芯をもって活動されている方々の記事を見て刺激を受けました。

さいごに、「労働者協同組合法」の成立が達成された「ワーカーズコープ」の今後は、この取り組みや働き方の益々の浸透を掲げていらっしゃると思いました。私も、このような働き方が一つの選択肢として通常になる世になればいいなと思いました。



第45期インターン生  
松村エミリ  
(高校3年生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。